# 2014年3月期 決算報告

2014/5/15

第一生命保険株式会社





- 連結経常収益は前期比二桁の増収。第一フロンティア生命の好調な保険販売に加え、国内の第三分野・オーストラリアのTAL社の堅調な保険販売等、成長分野が牽引。
- 連結経常利益・連結純利益はいずれも大幅増益。良好な経済環境を背景として、第一生命の逆ざやが順ざやに転じたこと等が経常利益・純利益の伸びに寄与。
- 2015年3月期の連結業績予想は、外部環境に関する慎重な見方から、減収予想。一方で、中期経営計画の進捗を踏まえ、増益・増配を予想。

## 第一生命グループ業績 - 業績ハイライト



## ■ 連結経常収益・連結純利益ともに大幅増加を達成

/	矣	耂	>
_	纱	7	/

		13/3期	14/3期 (a)	前其	月比
連	結経常収益	52,839	60,449	+7,609	+14%
	第一生命単体	43,159	43,846	+687	+2%
連	結経常利益	1,572	3,047	+1,474	+94%
	第一生命単体	1,738	3,076	+1,338	+77%
連	結純利益	324	779	+455	+140%
	第一生命単体	514	855	+340	+66%

2013/11/14	
発表予想(b)	達成率(a/b)
55,890	108%
41,970	104%
2,490	122%
2,600	118%
570	137%
700	122%



## ■ 子会社の保険販売好調と、第一生命単体の資産運用収支の改善が業績に貢献

## 連結損益計算書 (要約)(1)

(億円)

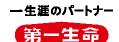
(際1)/					
		13/3期	14/3期	増減	
経	常収益	52,839	60,449	+7,609	
	保険料等収入	36,468	43,532	+7,063	
	資 <u>産運用収益</u>	13,351	13,200	△150	
	うち利息・配当金等収入	7,095	7,973	+877	
	うち有価証券売却益	2,265	2,104	△161	
	うち特別勘定資産運用益	3,352	2,623	△729	
	その他経常収益	3,020	3,716	+696	
経	常費用	51,266	57,402	+6,135	
	うち保険金等支払金	27,953	29,035	+1,082	
	うち責任準備金等繰入額	11,919	16,348	+4,429	
	うち資産運用費用	2,217	2,349	+132	
	うち有価証券売却損	662	674	+12	
	うち有価証券評価損	32	14	△18	
	うち金融派生商品費用	633	610	△22	
	うち事業費	4,864	5,175	+311	
経	常利益	1,572	3,047	+1,474	
特	別利益	88	36	△52	
特	別損失	240	673	+433	
契	約者配当準備金繰入額	860	940	+80	
税	金等調整前純利益	561	1,470	+908	
法	人税等合計	265	707	+442	
少	数株主損失(Δ)	△28	△16	+11	
純	利益	324	779	+455	

## 連結貸借対照表(要約)

( yes I					
	13/3末	14/3末	増減		
資産の部合計	356,944	377,051	+20,107		
うち現預金・コール	8,487	10,613	+2,126		
うち買入金銭債権	2,850	2,818	△32		
うち有価証券	293,909	312,035	+18,126		
うち貸付金	31,409	30,247	△1,162		
うち有形固定資産	12,362	12,158	△203		
うち繰延税金資産	676	57	△619		
負債の部合計	340,453	357,575	+17,121		
うち保険契約準備金	317,038	333,275	+16,236		
うち責任準備金	310,125	325,749	+15,623		
うち退職給付引当金	4,397	_	△4,397		
うち退職給付に係る負債	_	3,854	+3,854		
うち価格変動準備金	892	1,181	+289		
純資産の部合計	16,490	19,476	+2,985		
うち株主資本合計	5,633	6,285	+651		
うちその他の包括利益累計額合計	10,787	13,184	+2,396		
うちその他有価証券評価差額金	10,993	13,227	+2,233		
うち土地再評価差額金	△369	△383	△13		

<sup>(1)</sup> 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、 経常利益には影響するものではありません

## 第一生命グループ業績 - グループ各社の業績



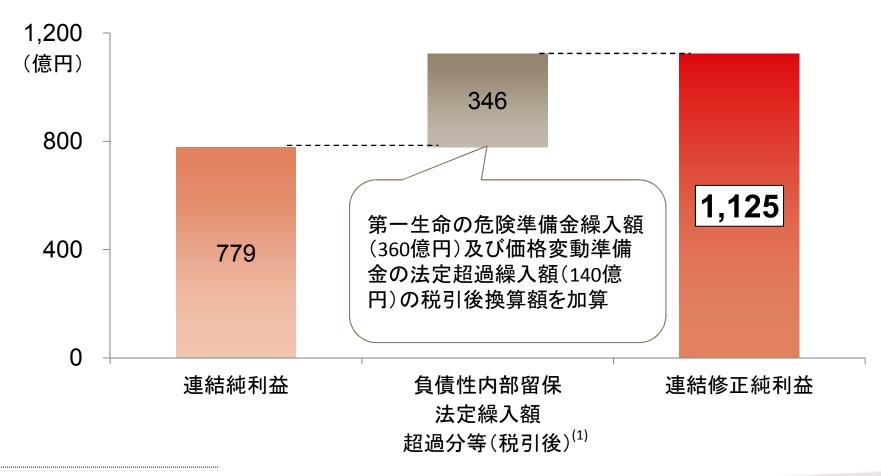
		【第一生命】		【第一	フロンティア	生命】		【豪TAL】 <sup>(1)</sup>			【連結】	
			(億円)			(億円)		(	百万豪ドル)			(億円)
	13/3期	14/3期	前期比	13/3期	14/3期	前期比	13/3期	14/3期	前期比	13/3期	14/3期	前期比
経常収益	43,159	43,846	+2%	7,817	14,178	+81%	2,386	2,849	+19%	52,839	60,449	+14%
保険料等収入	29,218	28,680	△2%	5,510	12,660	+130%	1,864	2,316	+24%	36,468	43,532	+19%
資産運用収益	11,044	11,614	+5%	2,307	1,518	△34%	281	280	△0%	13,351	13,200	△1%
経常費用	41,421	40,770	△2%	8,103	14,337	+77%	2,254	2,710	+20%	51,266	57,402	+12%
保険金等支払金	24,677	24,391	△1%	2,255	3,238	+44%	1,177	1,564	+33%	27,953	29,035	+4%
責任準備金等繰入額	6,427	5,833	△9%	5,201	10,183	+96%	459	503	+10%	11,919	16,348	+37%
資産運用費用	2,065	2,139	+4%	393	358	△9%	32	32	+0%	2,217	2,349	+6%
事業費	4,088	4,105	+0%	234	507	+117%	505	519	+3%	4,864	5,175	+6%
経常利益(Δは損失)	1,738	3,076	+77%	△ 286	△ 158		131	139	+6%	1,572	3,047	+94%
特別利益	88	36	△59%							88	36	△59%
特別損失	235	664	+183%	3	9	+137%	1			240	673	+180%
少数株主損失(△)										△ 28	△ 16	△41%
純利益(△は損失)	514	855	+66%	△ 295	Δ 169		91	90	△1%	324	779	+140%

<sup>(1)</sup> 豪TALの数値は、オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております

## 第一生命グループ業績 - 14/3期連結修正純利益



- 第一生命グループでは、株主に実質的に帰属する利益指標として、当期純利益を調整した「修正純利益」 を設定し、中期経営計画の経営目標としている。
- 14/3期の連結修正純利益は1,125億円と、13/3期の976億円から着実に増加

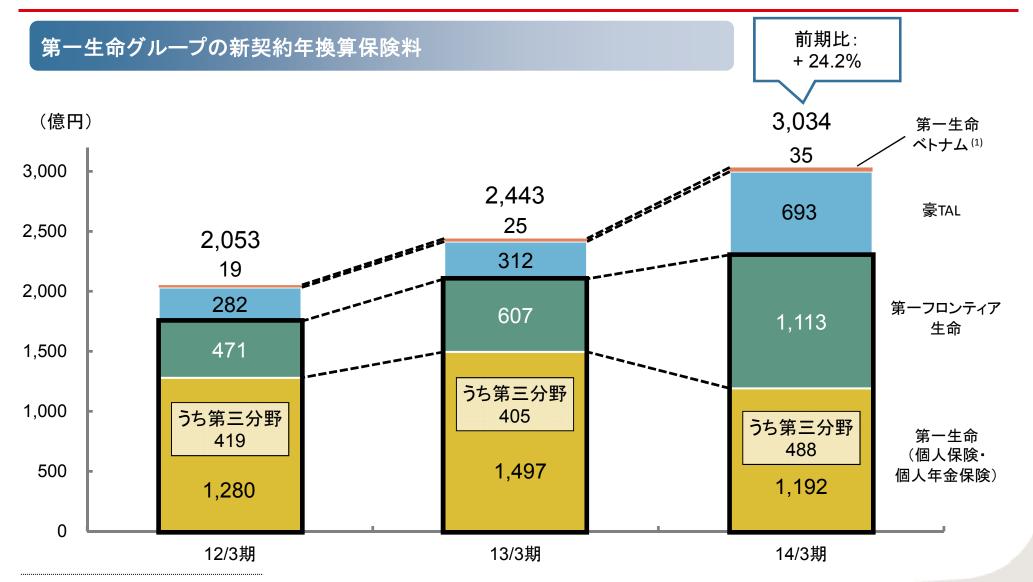


<sup>(1)</sup> 負債性内部留保(危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額)のうち、法定繰入額を超過した分を加算する(取崩しの場合はマイナスする)等。 金額はすべて税後換算(実効税率30.68%を適用)。

## 第一生命グループ業績 - 新契約動向(年換算保険料ベース)

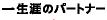
#### 一生涯のパートナー



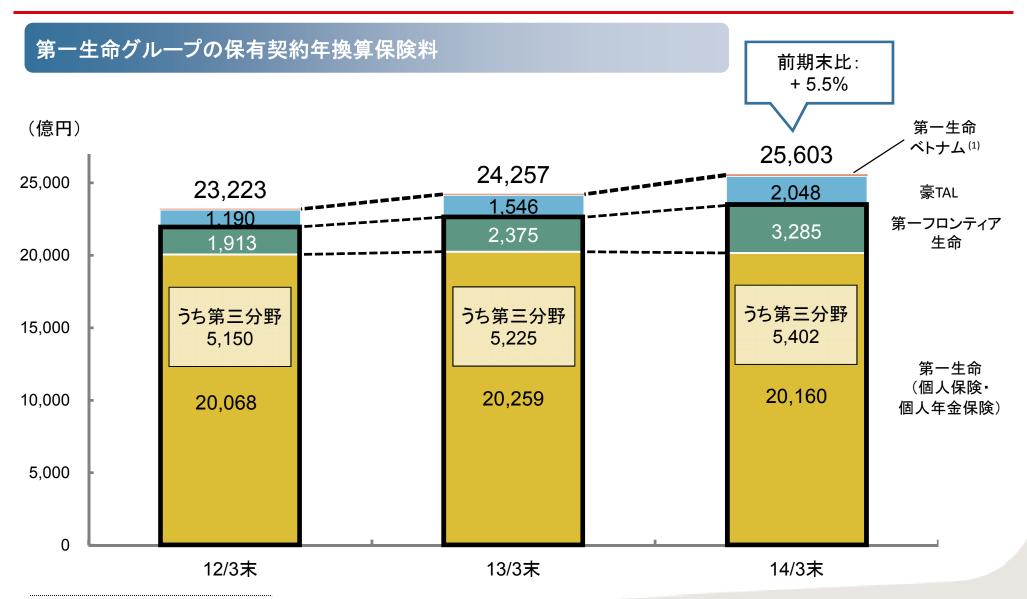


<sup>(1)</sup> 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。

## 第一生命グループ業績 - 保有契約動向(年換算保険料ベース)

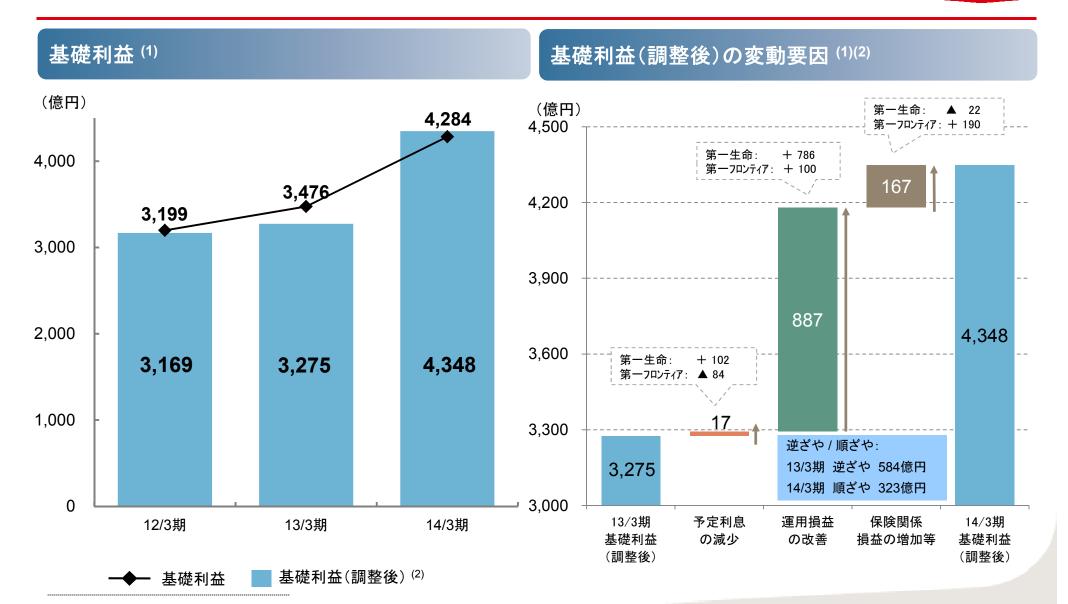


第一生命



<sup>(1)</sup> 第一生命ベトナムの決算日は12月31日です。12/3末、13/3末、14/3末の第一生命ベトナムの保有契約年換算保険料はそれぞれ50億円、75億円、108億円です。





<sup>(1)</sup> 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

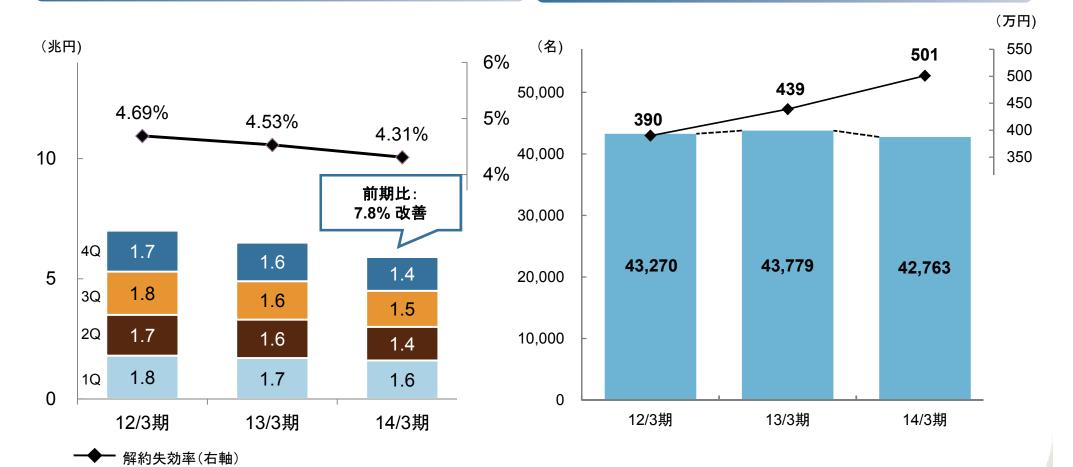
<sup>(2)</sup> 基礎利益(調整後)= 基礎利益 ± 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額

## 第一生命単体業績 - 解約失効高、営業職員数



## 解約失効高(個人保険・個人年金)

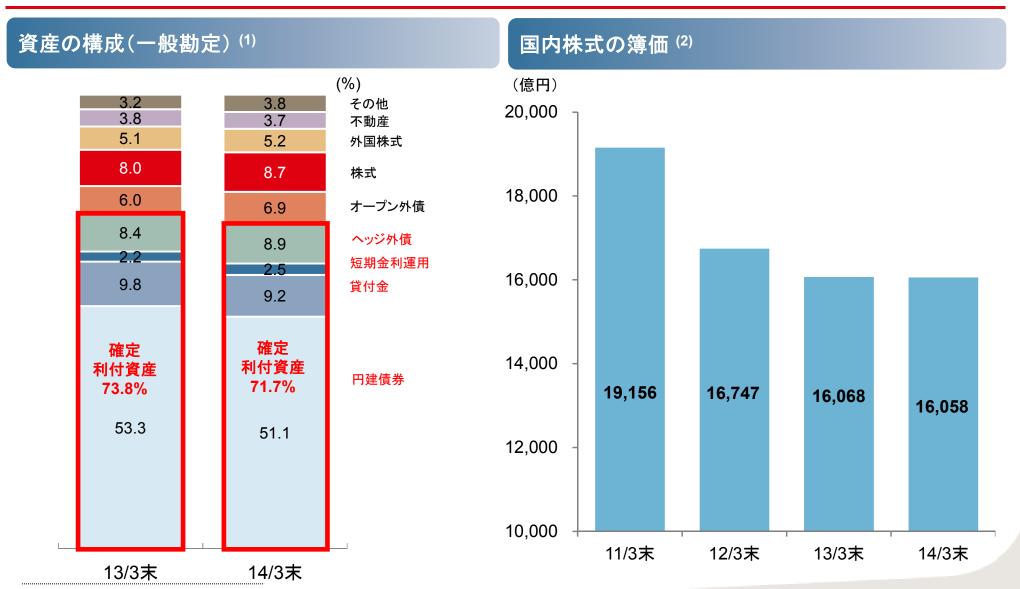
#### 営業職員数および生産性 (1)(2)



- (1) 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。
- (2) 各期間における新契約価値を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。

## 第一生命単体業績 - 一般勘定資産運用の状況(1)

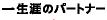




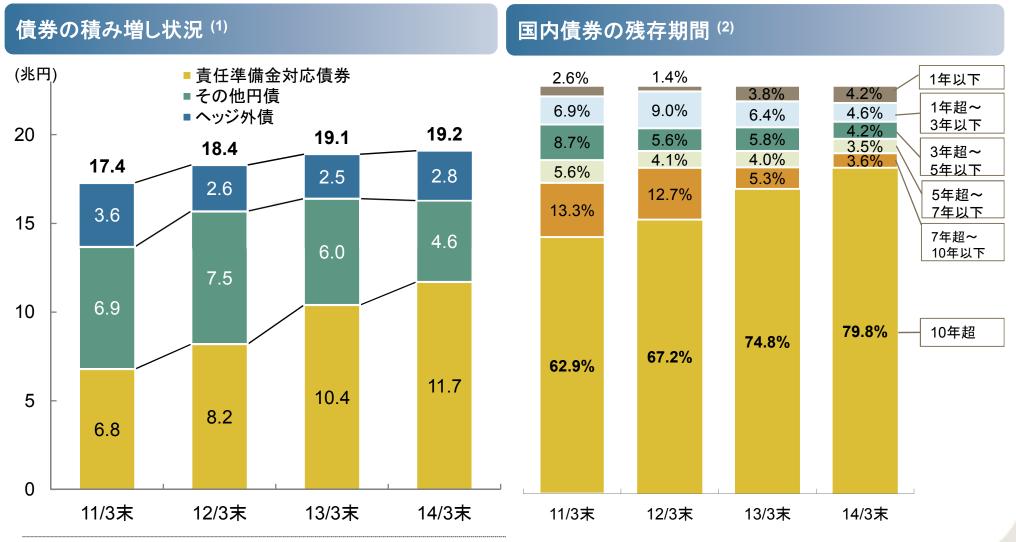
<sup>(1)</sup> 貸借対照表価額ベース

<sup>(2)</sup> 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く)

## 第一生命単体業績 - 一般勘定資産運用の状況(2)







<sup>(1)</sup> 一般勘定資産のうち円建債券とヘッジ外債を対象とする。簿価ベース

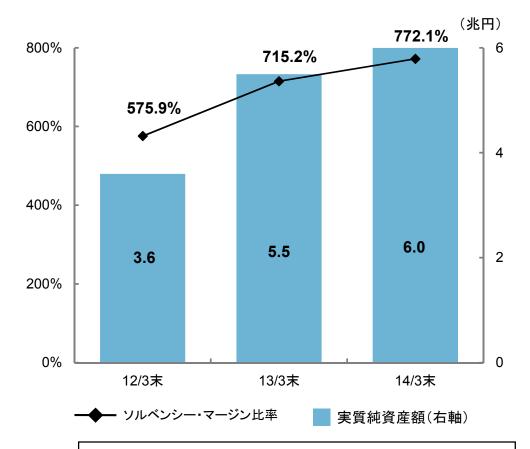
<sup>(2)</sup> 一般勘定資産のうち国内債券を対象とする。貸借対照表価額ベース

## 含み損益(一般勘定)

## ソルベンシー・マージン比率 および実質純資産額

(億円)

		13/3末	14/3末	増減
有	価証券	28,144	30,056	+1,911
	国内債券	16,275	13,813	△2,462
	国内株式	6,433	9,318	+2,884
	外国証券	5,050	6,422	+1,371
不	動産	214	482	+267
その他共計		28,339	30,505	+2,165

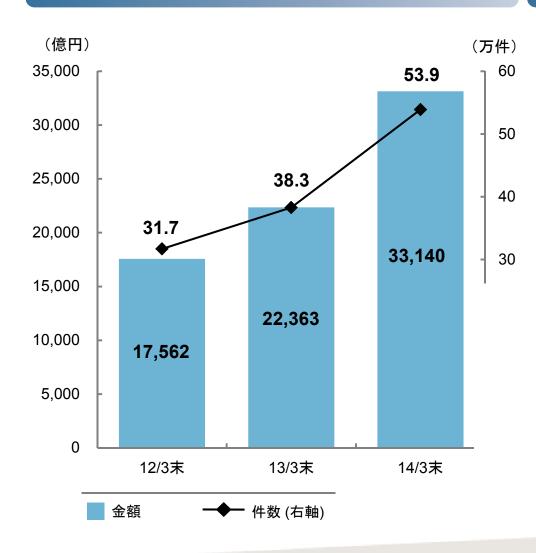


<参考> 連結ソルベンシー・マージン比率: 2014年3月末 756.9%

## 連結子会社業績 - 第一フロンティア生命



## 保有契約高



## 収支の状況

		(億円)
	13/3期	14/3期
経常収益	7,817	14,178
うち保険料等収入	5,510	12,660
うち変額商品	1,573	2,883
うち円建定額商品	1,473	3,663
うち外貨建定額商品	1,829	4,910
うち 資産運用収益	2,307	1,518
うち最低保証リスクに対するヘッジ利益(A)	_	_
経常費用	8,103	14,337
うち責任準備金等繰入額	5,201	10,183
うち最低保証リスクに係る責任準備金 繰入額(△は戻入)(B)	△ 173	76
うち危険準備金繰入額(C)	352	148
うち <u>資産運用費用</u>	393	358
うち最低保証リスクに対するヘッジ損失(D)	311	306
経常利益(Δは損失)	△ 286	△ 158
純利益(△は損失)	△ 295	△ 169
純利益 - (A)+(B)+(C)+(D)	195	363

#### 【参考】

再保険収支

再保険収入	633	1,202
再保険料	764	1,284
再保険収支	△ 130	△ 81

定額年金の市場価格調整(MVA)に係る責任準備金繰入額 繰入額(△は繰入) △ 1

Δ1 9

## 連結子会社業績 - 豪TAL (1)



## 主要業績

(百万豪ドル)

(日ガ家ドル)					
		13/3期	14/3期	前年比	
経常	常収益 ②	2,386	2,849	+19%	
	うち保険料等収入(2)	1,864	2,316	+24%	
経常	常利益 (2)	131	139	+6%	
純禾	引益(A) (2)	91	90	△1%	
修』	E額(B)	32	40		
	うち負債割引率の変化	Δ 11	5		
	うち償却負担	21	20		
	その他	22	14		
	E利益=(A)+(B) derlying profit)	123	131	+6%	

#### 〈参考〉

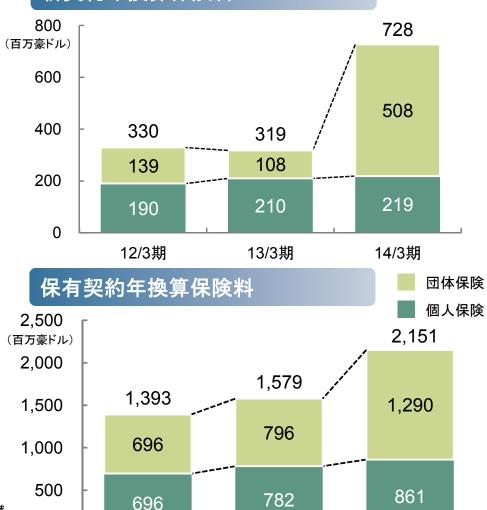
	13/3末	14/3末
為替レート(豪ドル)	97.93円	95.19円

- (1) 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値
- (2) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替 えた上で開示しております(修正額及び修正利益を除く)

## 新契約年換算保険料

0

12/3末



13/3末

14/3末

## 第一生命グループ業績予想 - 2015年3月期業績予想



- 金融市場環境等につき慎重な見方から減収予想も、当期純利益は増益を予想
- 業績見通しや資本の状況等を踏まえ、1株あたり25円の増配予想

(億円)

		14/3期	15/3期(予)	増減
経常	収益	60,449	53,490	△ 6,959
	第一生命単体	43,846	40,740	△ 3,106
	第一フロンティア	14,178	9,720	△ 4,458
	TAL(百万豪ドル)	2,849	3,440	+ 590
経常	利益	3,047	2,460	△ 587
	第一生命単体	3,076	2,390	△ 686
	第一フロンティア	△ 158	△ 40	+ 118
	TAL(百万豪ドル)	139	130	△ 9
当期	純利益	779	800	+ 20
	第一生命単体	855	790	△ 65
	第一フロンティア <sup>(1)</sup>	△ 152	△ 60	+ 92
	TAL(百万豪ドル)	90	90	+ 0
1株:	当たり配当金(2)	20円	25円	+5円

(参考:基礎利益)

第一生命・第一フロンティア合算	4,284	3,600程度	△ 684
第一生命単体	3,998	3,400程度	△ 598

<sup>(1)</sup> 持分考慮後(2014年3月期)

<sup>(2) 1</sup>株当たり配当金(2014年3月期)は2013年10月1日実施の株式分割(普通株式1株を100株に分割)を考慮した額を記載しております。

## EEV - ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー(1)



#### ■ 新契約獲得と金利上昇により保有契約価値が増加

#### 第一生命グループのEEV

(億円)

		13/3末	14/3末	増減
EE\	/	33,419	42,947	+9,527
	修正純資産	31,288	34,313	+3,025
	保有契約価値	2,131	8,633	+6,501

	13/3期	14/3期	増減
新契約価値	2,112	2,554	+442

#### 第一生命(単体)

(億円)

		13/3末	14/3末	増減
Ε	EV	33,529	42,685	+9,156
	修正純資産	32,230	35,209	+2,978
	保有契約価値	1,298	7,476	+6,177

	13/3期	14/3期	増減
新契約価値	1,911	2,169	+257

#### 第一フロンティア生命

		13/3末	14/3末	増減
Ε	EV	1,293	1,638	+345
	修正純資産	1,316	1,344	+27
	保有契約価値	△ 23	293	+317

	13/3期	14/3期	増減
新契約価値	19	223	+203

## EEV -ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー(2)

第一生命

TAL

(億円)

<参考>TAI	.(豪ドル	レベース)
---------	-------	-------

(百万豪ドル)

		13/3末	14/3末	増減
Ε	EV	1,726	1,863	+137
	修正純資産	871	999	+128
	保有契約価値	854	863	+9

		13/3末	14/3末	増減
E	EV	1,762	1,957	+195
	修正純資産	889	1,050	+160
	保有契約価値	872	907	+35

	13/3期	14/3期	増減
新契約価値	183	184	+0

	13/3期	14/3期	増減
新契約価値	187	193	+6

13/3末EEV・13/3期の新契約価値:

13/3末の為替レート(1豪ドル=97.93円)を使用

| 14/3末EEV • 14/3期の新契約価値:

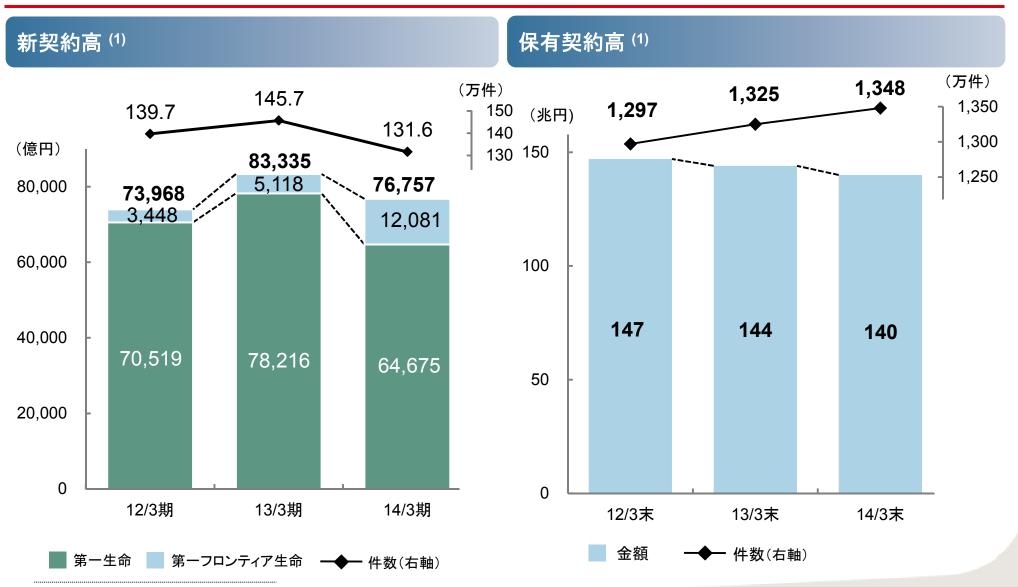
14/3末の為替レート(1豪ドル=95.19円)を使用



# 参考データ

## 参考データ - 契約高の動向(個人保険・個人年金保険)

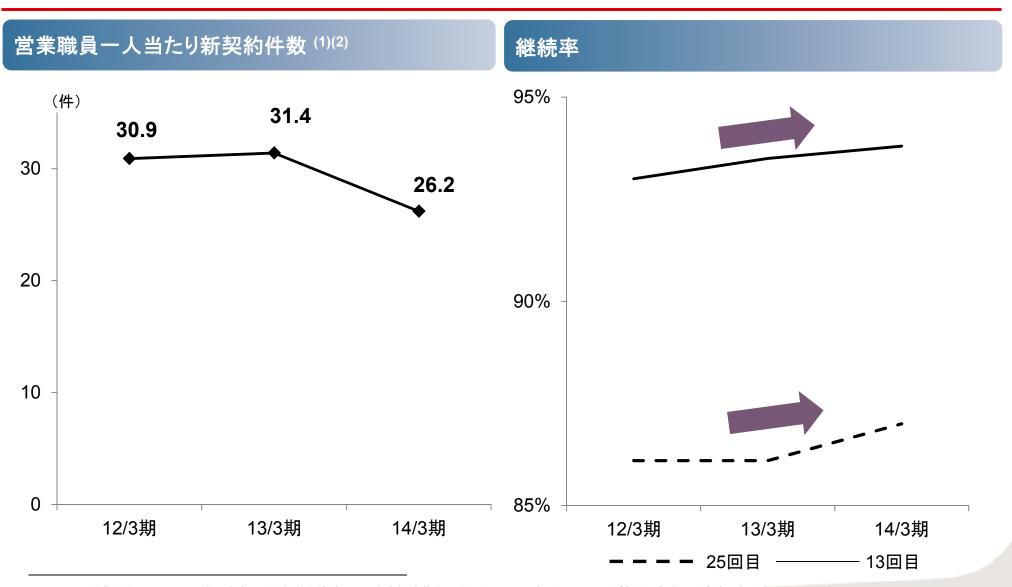




<sup>(1)</sup> 第一生命と第一フロンティア生命の合算ベース

## 参考データ - 第一生命単体業績 - 販売チャネルの状況



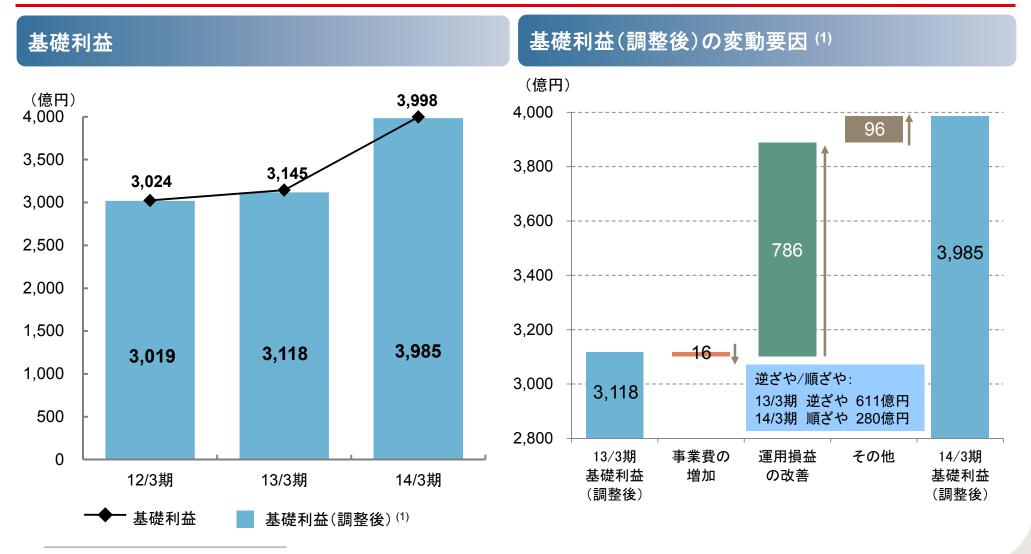


<sup>(1)</sup> 営業職員については、第一生命と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしている者のうち、その他補助的業務に従事する者を除いております。

<sup>(2)</sup> 各期間における新契約件数(転換含む)を分子、各期間の営業職員数(補助的業務に従事する者を除く)の平均値を分母として計算しています。



#### 第一生命



<sup>(1)</sup> 基礎利益(調整後)= 基礎利益 ± 変額年金の最低保証リスクに係る責任準備金繰入(戻入)額

# 参考データ - 第一生命(単体)財務諸表(要約)



## 損益計算書(1)

(億円)

				( 応  1/
		13/3期	14/3期	増減
経常収益		43,159	43,846	+687
	保険料等収入	29,218	28,680	△538
	資産運用収益	11,044	11,614	+569
	うち利息・配当金等収入	6,956	7,752	+795
	うち有価証券売却益	2,118	2,023	△94
	うち特別勘定資産運用益	1,665	1,490	△175
	その他経常収益	2,896	3,551	+655
経	常費用	41,421	40,770	△650
	うち保険金等支払金	24,677	24,391	△286
	うち責任準備金等繰入額	6,427	5,833	△594
	うち資産運用費用	2,065	2,139	+74
	うち有価証券売却損	661	673	+11
	うち有価証券評価損	32	14	△18
	うち金融派生商品費用	489	491	+1
	うち事業費	4,088	4,105	+16
経	常利益	1,738	3,076	+1,338
特別利益		88	36	△52
特別損失		235	664	+429
契約者配当準備金繰入額		860	940	+80
税引前純利益		731	1,508	+776
法人税等合計		217	652	+435
純利益		514	855	+340

# 貸借対照表

		13/3末	14/3末	増減
資	産の部合計	330,724	340,288	+9,563
	うち現預金・コール	7,294	9,084	+1,790
	うち買入金銭債権	2,831	2,758	△72
	うち有価証券	271,619	280,051	+8,431
	うち貸付金	31,396	30,231	△1,164
	うち有形固定資産	12,360	12,155	△204
	うち繰延税金資産	655	111	△544
負	- 債の部合計	313,947	320,569	+6,621
	うち保険契約準備金	291,683	297,440	+5,756
	うち責任準備金	286,370	291,992	+5,622
	うち危険準備金	4,950	5,310	+360
	うち退職給付引当金	4,375	4,071	△303
	うち価格変動準備金	884	1,164	+280
純	- 資産の部合計	16,776	19,718	+2,941
	うち株主資本合計	6,235	6,962	+727
	うち評価・換算差額等合計	10,537	12,749	+2,211
	うちその他有価証券評価差額金	10,925	13,158	+2,233
	うち土地再評価差額金	△369	△383	△13

<sup>(1)</sup> 特別勘定資産運用損(益)は、責任準備金の戻入れ(繰入れ)で相殺されるため、 経常利益に影響するものではありません

## 参考データ - 第一フロンティア生命財務諸表(要約)



# 損益計算書

## 貸借対照表

(億円)

			(1息円)
	13/3期	14/3期	増減
常収益	7,817	14,178	+6,361
うち保険料等収入	5,510	12,660	+7,150
うち資産運用収益	2,307	1,518	△789
常費用	8,103	14,337	+6,233
うち保険金等支払金	2,255	3,238	+982
うち責任準備金等繰入額	5,201	10,183	+4,982
うち資産運用費用	393	358	△35
うち事業費	234	507	+273
ー 常利益(Δは損失)	△286	△158	+127
 引損益	Δ3	Δ9	△5
引前純利益(Δは損失)	△290	△168	+121
 人税等合計	5	0	Δ4
利益(△は損失)	△295	△169	+126
	うち資産運用収益 常費用 うち保険金等支払金 うち責任準備金等繰入額 うち資産運用費用	常収益 7,817   うち保険料等収入 5,510   うち資産運用収益 2,307   常費用 8,103   うち保険金等支払金 2,255   うち責任準備金等繰入額 5,201   うち資産運用費用 393   うち事業費 234   常利益(△は損失) △286   引前純利益(△は損失) △290   人税等合計 5	常収益 7,817 14,178   うち保険料等収入 5,510 12,660   うち資産運用収益 2,307 1,518   常費用 8,103 14,337   うち保険金等支払金 2,255 3,238   うち責任準備金等繰入額 5,201 10,183   うち資産運用費用 393 358   うち事業費 234 507   常利益(△は損失) △286 △158   引前純利益(△は損失) △290 △168   人税等合計 5 0

			13/3末	14/3末	増減
資産の部合計		23,731	33,924	+10,192	
	うち	現預金・コール	625	780	+155
	うち	有価証券	22,365	32,206	+9,840
負債	負債の部合計		23,086	33,440	+10,353
	うち	保険契約準備金	22,699	32,883	+10,183
		うち責任準備金	22,684	32,858	+10,174
		うち危険準備金	924	1,072	+148
純資産の部合計		645	483	△161	
	うち	株主資本合計	572	403	△169
		資本金	1,175	1,175	-
		資本剰余金	675	675	_
		利益剰余金	△1,277	△1,446	△169



## 損益計算書<sup>(1)(2)</sup>

## 貸借対照表(1)(2)

(百万豪ドル)

(百万豪ドル)

	13/3期	14/3期	増減
経常収益	2,386	2,849	+463
保険料等収入	1,864	2,316	+452
資産運用収益	281	280	Δ0
その他経常収益	240	252	+11
経常費用	2,254	2,710	+455
保険金等支払金	1,177	1,564	+386
責任準備金等繰入額	459	503	+43
資産運用費用	32	32	+0
事業費	505	519	+14
その他経常費用	80	90	+10
経常利益	131	139	+8
特別損失	1	1	Δ1
法人税等	38	48	+10
純利益	91	90	Δ0
修正利益			
(Underlying profit)	123	131	+7

<u></u> _日刀家ト			日刀家ドル	
		13/3末	14/3末	増減
資産の部合計		5,499	6,086	+587
現預金	コール	467	676	+208
有価証	券	2,808	2,852	+44
有形固:	有形固定資産		0	+0
無形固況	定資産	1,263	1,271	+7
のれ	ん	783	791	+7
その他	也の無形固定資産	480	480	+0
再保険?	貸	48	72	+23
その他	<b>資産</b>	910	1,213	+302
負債の部合	計	3,688	4,184	+496
保険契	約準備金	2,611	2,960	+349
再保険	井	295	385	+89
その他は	負債	680	721	+40
繰延税:	金負債	101	117	+16
純資産の部合計		1,810	1,901	+90
株主資	本合計	1,810	1,901	+90
資本	·金	1,630	1,630	_
利益	剰余金	180	270	+90

<sup>(1)</sup> 連結対象の豪持株会社(TAL Dai-ichi Life Australia Pty Ltd)に係る数値

<sup>(2)</sup> オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しております(修正利益を除く)

#### 感応度(1)

#### 含み損益ゼロ水準(2)

#### 国内株式

日経平均株価 1,000円の変動で 1,700億円の増減 (2013年3月末:1,700億円)

#### 日経平均株価 ¥9.200

(2013年3月末:¥8,600)

#### 国内债券

10年国債利回り 10bpの変動で 2,400億円の増減<sup>※</sup> (2013年3月末: 2,400億円)

※その他有価証券区分:300億円の増減 (2013年3月末:500億円)

#### 10年国債利回り

1.2% ※ (2013年3月末:1.2%)

※その他有価証券区分:1.4% (2013年3月末:1.4%)

#### 外国証券

ドル/円 1円の変動で 280億円の増減 (2013年3月末: 260億円)

ドル/円 \$1 = ¥89 (2013年3月末:¥84)

<sup>(1)</sup> 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

<sup>(2)</sup> 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準。外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

本資料の問い合わせ先 第一生命保険株式会社 経営企画部 IR室 電話:050-3780-6930

#### 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命保険株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。